

藤沢市議会 2月定例会

2月15日～3月20日の34日間 2018年度の予算を審議!

藤沢市議会2月定例会が始まります。会期は2月15日～3月20日までの34日間です。この議会は、2018年(平成30年)度の予算を審議します。また、市民等から提出された請願や陳情も審議します。新庁舎(本庁舎)が完成し、9階の本会議場で開催される初めての議会です。ぜひ、傍聴にお出かけください。また、同じ9階には展望デッキもあります。富士山や江の島も展望できます。

日本共産党議員団は 土屋俊則議員が代表質問の予定!

2018年度の予算審議が行われます。今年は、土屋俊則議員が日本共産党市議団として代表質問を行う予定です。

また、予算委員には、山内幹郎議員と味村耕太郎議員を、予算討論は柳沢潤次議員を予定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

また、予算審議は全ての事業を対象に質疑しますので、日頃、感じておられる藤沢市政へのご意見ご要望をお寄せください。



(日程は全て予定です。確定し次第改めてお知らせします。)

【藤沢市議会2月定例会日程(予定)】

2/15	木	本会議	議案・予算上程
/19	月	本会議	議案等質疑、委員会付託
/20	火	建設経済常任委員会	土屋議員担当
/21	水	厚生環境常任委員会	味村議員担当
/22	木	子ども文教常任委員会	山内議員担当
/23	金	総務常任委員会	柳沢議員担当
/26	月	補正予算常任委員会	土屋議員担当
/27	火	議会運営委員会	柳沢議員担当
3/1	木	本会議	議決・代表質問
/2	金	本会議(13:30～)	土屋議員代表質問
/5	月	本会議	代表質問
/6	火	予算等特別委員会	
/7	水	予算等特別委員会	
/8	木	予算等特別委員会(13:30)	白浜高等部卒業式
/9	金	予算等特別委員会(13:30)	中学校卒業式
/12	月	予算等特別委員会	
/13	火	予算等特別委員会	
/14	水	予算等特別委員会	委員会報告、予算討論、議決
/15	木	予算等特別委員会(13:30)	白浜小中卒業式
/16	金	予算等特別委員会(13:30)	小学校卒業式
/20	火	本会議(最終日)	予算討論

●請願締切2月13日(火)正午まで ●陳情締切2月15日(月)17時まで

○代表質問 土屋俊則議員
3月5日(月)

○予算等特別委員会委員
山内幹郎議員
味村耕太郎議員
3月6日(火)
～3月16日(金)まで

○予算討論 柳沢潤次議員
3月20日(火)

「Jアラート訓練」ではなく、国・県への 外交努力の要請を 日本共産党藤沢市議団

藤沢市は、1月31日(水)11時に、「Jアラート一斉再生訓練」の実施を決め、市民に避難行動を求めた町内会の回覧等で周知を図っています。日本共産党藤沢市議会議員団は、「藤

沢市は「Jアラート一斉再生訓練」で市民の恐怖心や不安をおおるのではなく、国・県に対し戦争を起こさせないための外交努力を尽くすよう働きかけるべきです。」との見解を発表しました。

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください



藤沢市議会議員
味村耕太郎



藤沢市議会議員
山内幹郎



藤沢市議会議員
土屋俊則



藤沢市議会議員
柳沢潤次

法律・生活相談

毎月10日頃 午後1:30から予定
(日本共産党議員団控室にて)
ご希望の方はご連絡ください
(25)1111(内線)5649



日本共産党 藤沢市議団 市議会報告

No.262

2018年2月4日(連絡先) Tel (25) 1111(内) 5649

(ホームページ) <http://www.ne.jp/asahi/jcp/fujisawa/>
(E-mail) f-kyosan@cityfujisawa.ne.jp

藤沢市は「Ｊアラート一斉再生訓練」で市民の恐怖心や不安をおおるのではなく、国・県に対し戦争を起こさせないための外交努力を尽くすよう働きかけるべきです。

<日本共産党藤沢市議会議員団の見解>

藤沢市は2018年1月31日（水）11時に神奈川県が実施する「Ｊアラート一斉再生訓練」に伴う「国民保護サイレン」の放送と市民の避難行動への協力も求めて、町内会の回覧等で周知をはかっています。

この訓練は、国の要請を受け入れ、神奈川県が県内自治体に実施要請したものです。神奈川県内では、多くの自治体が訓練を実施する予定ですが、横浜市（放送設備が一部分しかない）、川崎市はサイレンの放送はせず、庁内に限定した実施になっています。

藤沢市は、サイレンの放送だけではなく、避難行動についても市民や小中学校、幼稚園、保育園等に協力を求めており、子ども達の不安をおおることになりかねません。

Ｊアラートの訓練については、市民から「恐怖心をおおるだけ」「訓練の有効性が疑問」「学校で子ども達にどのように説明するのか」など批判や疑問の声が寄せられています。

藤沢市議会の2017年6月議会では、避難訓練を自治体に実施すること等を求めた陳情が提出され総務常任委員会での審議の結果、全会一致で趣旨不了承になっています。藤沢市は議会の意向を尊重すべきです。

しかし、一方、8月に北朝鮮がミサイルを発射した際、12道県でＪアラートを作動させ、7道県で学校が休校したことやマスコミの過剰な報道もあり、市民の不安をおおる事態になっていることも事実です。

北朝鮮のこの間のミサイル発射や核実験は国連安保理決議等に違反する暴挙であることから、厳しく抗議し、経済的制裁を含めた圧力をかけることは当然のことです。

しかし、日本政府は、アメリカのいいなりに軍事的制裁も選択肢に入れ、解決のための話し合いを否定していることは大問題です。

1月9日には韓国と北朝鮮の話し合いが実現しました。まだ、予断を許すことはできませんが、話し合いの継続が合意されたことは評価できます。

藤沢市がしなくてはならないことは、Ｊアラートの放送や避難行動を求めると市民の恐怖心と不安をおおることではなく、国や県に対し、戦争を起こさせないための外交努力を尽くすよう働きかけることです。

2018年1月21日

日本共産党藤沢市議会議員団

柳沢潤次・土屋俊則・山内幹郎・味村耕太郎